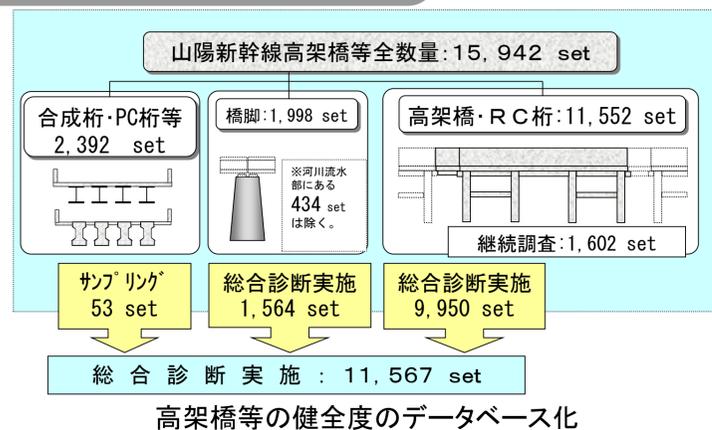




優秀賞



長期暴露試験等による補修材料の性能確認



現場確認試験による補修材料の性能確認



PCI形桁外ケーブル張力モニタリング方式の実橋への適用



コンクリート補修施工管理技士講習会

鉄道分野

早期劣化したコンクリート構造物の健全性の保持

山陽新幹線コンクリート構造物の実証的な維持管理の取り組み

取組概要

1999年に発生した山陽新幹線コンクリート問題から得た教訓をもとに、維持管理の抜本的見直しを行ってきた。2013年には今後100年間健全な状態で供用し続けることを目指した山陽新幹線維持管理シナリオを策定するとともに、新たにPC桁の予防保全に着手するなど、コンクリート構造物の実証的な維持管理に取り組んできている。

受賞理由

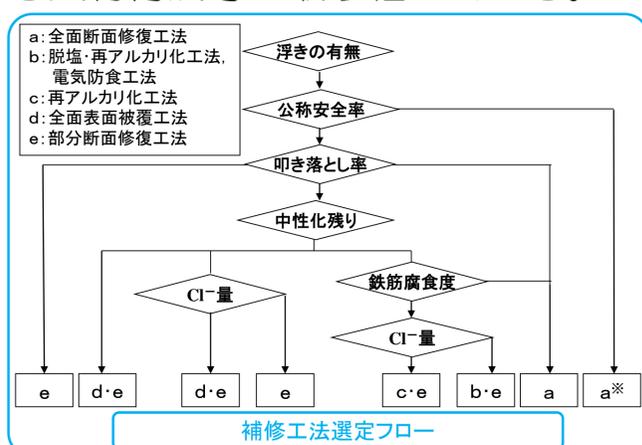
山陽新幹線の全高架橋情報のデータベース化や、コンクリート構造物の劣化メカニズムに応じた補修工法を選定できるフローを策定したことにより、適切な工法及び材料等を用いて、補修精度を大幅に向上させることを可能とした点を評価された。

取組のポイント

山陽新幹線コンクリート構造物の健全性の保持を目指し、検査・補修の体系的な推進、新技術の開発導入による検査精度や補修品質の向上、補修仕様を示した手引きの制定・改定、これらを推進できる人材育成等に取り組んでいる。



コンクリート構造物補修の手引き〔第六版〕



受賞者について

受賞者

西日本旅客鉄道株式会社
 中村 圭二郎 / 木村 元哉 / 荒巻 智
 渡辺 佳彦 / 湯浅 康史

コメント

コンクリート構造物の早期劣化が社会問題化した山陽新幹線において、コンクリート構造物の健全性確保に向けた実証的な取り組みを推進してきました。これまでの関係者の努力に感謝するとともに、今後ともインフラ長寿命化に真摯に取り組んでいきます。

団体概要

鉄道本部施設部および構造技術室は、鉄道構造物の維持管理に関するルールの制定や技術開発に取り組んでいます。また、各部署が現場と密接に連携して、鉄道構造物の検査、補修、補強工事等を実施し、新幹線の安全・安定輸送を支えています。

問い合わせ先

西日本旅客鉄道株式会社
 鉄道本部施設部土木課
 担当課長 荒巻 智
 06-6375-2192

構造技術室 コンクリート構造
 主席 渡辺 佳彦
 06-6305-6957 / yoshihiko-watanabe@westjr.co.jp